

令和7年度 秦野高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底）	公務員としての義務を意識させ、法令遵守を徹底させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に管理職と若手職員との個人面談を実施し関係資料を用いて法令順守の意識啓発を行った。 ・不祥事防止研修会について、校内グループが輪番で運営することで、職員一人ひとりが「自分ごと」として捉えることができた。 ・県の通知等を活用し、個々の職員の意識を高めた。
職場のハラスメント（パワハラ・セクハラ・マタハラ等）の防止	互いの人権を尊重し、パワハラ、セクハラ、マタハラ等を許さず、ハラスメントをする職員をゼロにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・12月にアンケートをとり、実態を把握し、職場のハラスメントは特にないことを確認した。 ・組織的な校内巡回や管理職面談等通して情報収集に努め、ハラスメントに係る課題の把握に努めた。 ・不祥事防止研修会等において、関係資料等を活用して、人権尊重に対する意識を高めた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識を持って取り組み、定められたルールを遵守し、児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を行っている職員をゼロにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職と若手職員との個人面談を実施し、SNSを通じた生徒との個人的なやりとりは絶対に行わないこと等について周知徹底した。 ・不祥事防止研修会において、職員の人権意識及び教育公務員としての自覚、意識を高めた。 ・不祥事防止映像資料等の視聴後に、職員一人ひとりに「振り返りシート」を記入させ「自分ごと」として考えさせた。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重した指導を行い、体罰、不適切な指導をゼロにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止研修会において、様々な事例を紹介しながら、体罰・不適切指導に対する理解を深めた。 ・朝の打合せ等を利用して、生徒から誤解を受けるような配慮の欠いた不適切な発言をしないよう管理職から注意を行い、継続的な指導を行った。 ・テスト返却時など、職員が個人情報を含む書類等を扱う際には、周囲の生徒に情報が漏れないように、十分に配慮して対応するよう管理職から注意喚起した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	全員が当事者意識を持って業務にあたり、生徒の一生を左右しかねない重大な事故につながることを強調し、書類作成の事故をゼロにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止研修会で、職員啓発・点検資料を活用して、入学者選抜に係る事故不祥事防止に対する意識を高めた。 ・不祥事防止研修会で、定期試験・成績処理について、試験問題及び答案の扱い等や成績資料作成及び点検体制等について、組織的に対応することの意義について周知徹底した。 ・成績処理に係るマニュアル及び進路関係の資料作成について、従来のもを見直し修正を加えることで、事故不祥事防止の徹底に繋がった。

個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の流出を未然に防ぎ、個人情報の流出事故をゼロにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止研修会を実施し、個人情報等の管理、情報セキュリティに対する認識を深めた。 ・紙媒体の個人情報についても、所定の場所に施錠して保管することについて周知徹底した。 ・個人情報の持ち出しを極力抑え、やむを得ず持ち出す際は「個人情報持出許可願い」により、管理職の許可を得て持ち出させることを職員に徹底させた。 ・「神奈川県個人情報保護条例」に基づき、個人情報の適切な管理を行った。
学校備品の管理	学校物品の管理を徹底し、学校備品の紛失等の事故をゼロにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・備品台帳をもとに、全職員が学校物品の保管場所を把握するとともに、定期的に物品の確認を行った。 ・物品の貸出し及び返却について、担当職員の立ち合いのもと、貸出簿により管理の徹底を図った。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、交通事故・違反が起きることを未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止研修会で職員啓発・点検資料を活用して、交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守に対する認識を深めた。 ・全職員に対し、常に安全運転を心がけるよう注意喚起するとともに、原則として職員は生徒を自家用車に乗せないことを再確認させるなど、過去の事例を交えながら交通安全指導を実施した。
財務事務等の適正執行	適正な会計処理を行い、私費や公費に係る事故をゼロにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に、私費会計マニュアルを活用し、各会計担当者に説明する機会を設けるとともに、インターネットバンキングの運用を軌道に乗せるなど、迅速かつ適正な会計処理体制を確立した。 ・会計処理において、業務アシスタントを活用し、適正な会計処理と職員の負担軽減を図り、事故不祥事防止を徹底することができた。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

定期的に事故・不祥事防止会議及び不祥事防止研修会を実施するとともに朝の打合せなどにおいて日常的に教職員への意識啓発を行った。成績処理及び進路関係書類の作成について、今年度は校内マニュアルの改訂及び成績処理日程・進路関係書類の作成内容を見直すなど、組織的な業務体制を整えた。次年度においても、校内マニュアルに基づいた組織的な成績処理・点検体制及び進路関係書類の作成を継続し、事故・不祥事防止の更なる徹底を図る。

令和8年度の重点目標を「体罰・不適切な指導の防止」及び「入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止」とする。引き続き、全職員で各種校内マニュアルの活用及び教職員相互の声掛けの徹底を図るとともに、職員の同僚性を向上させ事故・不祥事防止への意識を高めていきたい。また、「自分ごと」として不祥事防止を意識できるよう一人ひとりの当事者意識を醸成していく。さらに、在校生や保護者をはじめ、県民の信頼を損ねることのないよう、職員一同、事故・不祥事の未然防止に努めていく所存である。